

先行き不安な今、 経済学という ワクチン接種を。

コロナ禍の時代、
私たちにできることは？
坪井先生、教えてください。



経済学は、人を幸せにするための学問です。

例えば、物価が安定していない状況を考えてみましょう。

近所のコンビニに行って、今日は100円だったおにぎりが、

明日は300円、明後日は50円となってしまうと、

私たちは安心して暮らせません。

また、新型コロナウイルスの流行で

今まで気にもしていなかった「マスクが手に入ること」すら、

感染からお互いを守るために必要な「幸せの条件」の

ひとつになりました。これらの例のように、

普段当たり前だと気にしていないことの多くは、

実は経済の働きに支えられた「幸せの条件」なのです。

先行き不安な今、「経済学」というワクチンを接種することで、

普段の日常に隠れた「幸せの条件」に

気づきやすくなるとともに、人を幸せにしたい、

世の中をよくしたいと思えるようになるかもしれません。

そしてこの状況を少しでも変えたいと

行動する人が増えていけば、少しずつ、

希望の光が見えてくるのではないのでしょうか。

経済学科

講師 坪井 美都紀



和光3分大学

〈対面型・予約制〉オープンキャンパス開催中！

詳細・ご予約は和光大学ホームページをご覧ください。8・9・10月は模擬授業も開催

ホームページ 検索 / YouTube 検索 / Twitter @wako_nyushi

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

www.wako.ac.jp

ひとりを光らせる

和光大学